

甲状腺摘出症例における脂質異常症のコントロール状況の 実態調査とリスク因子の考察に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月から2017年7月まで当院に通院歴のある診療病名「甲状腺腫瘍」・「甲状腺乳頭腫」、手術歴「甲状腺切除・部分切除」が登録されている患者

2. 研究目的・方法

・目的

甲状腺癌に対する治療法としては甲状腺摘出が推奨されており、摘出後にはホルモン補充療法が補必要となる。二次性高コレステロール血症として甲状腺機能低下症があるが、甲状腺切除後のホルモン補充状況とコレステロール値について調査された報告はない。今回、甲状腺摘出症例における脂質異常症のコントロール状況について実態調査を行い、考察に関して報告する。

・方法

対象は、2012年4月から2017年7月まで当院に通院歴のある診療病名「甲状腺腫瘍」・「甲状腺乳頭腫」、手術歴「甲状腺切除・部分切除」が登録されている患者とする。患者の年齢、性別、既往歴、TSH・LDL-Cの血液検査値、LT-4投与有無を電子カルテより後ろ向きに調査を行う。LDL-Cが140以上をコントロール不良群とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者番号, 年齢, 性別, 検査値データ, 既往歴

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者:

京都中部総合医療センター 坂本 朱美

-----以上